

一坪オーナー 公園維持

長岡京の住民 高齢でも続けやすく

長岡京市高台2丁目の住民25人が地元の高台5号公園の「一坪オーナー」になり、小さい区画に分けて手入れし、豊かな花や植生を維持している。偏りがちな草抜きや水やりの負担を分けることで、高齢でも続けやすい公園管理を行っている。

同公園は2010年から住民が緑化を担う「みどりのサポーター」となり、約100平方メートルに花壇やレンガの歩道を作り、100種類を超える花や樹木を育



- ①一坪オーナー制度を導入し、負担を分けて植物の手入れをする高台5号公園（長岡京市高台2丁目）
- ②雑草に覆われた住民が手入れする前の公園（2009年10月）



ててきた。しかし、参加者が60〜80歳代と高齢化し、夏場は草抜きなどが追いつかなくなっていたという。そこでコロナ禍の1年前に一坪オーナー制度をつくり、5平方メートルほどの12区画に分けて管理を

始めた。
提案した松浦和子さん（72）は「手入れが楽になり、体の負担が減った。元気でいられるうちは続けようと思えるようになった」と手応えを話す。同公園では地域を限定せず、一坪オーナーを募っている。問い合わせは松浦さん075（951）7751。（古市大）